

# 4期目がスタート・ご支援ありがとうございました

## 県政改革で県民の期待に応えたい

今年の冬はまったく積雪がなく、梅雨入りの季節を迎えても一向に「梅雨入り宣言」が出ないという、異常気象と言ってもいい状況です。積雪やカラ梅雨は楽しい面もありますが、一方で水不足や集中豪雨が心配です。6月26日にやっと島根県の梅雨入り宣言が出ましたが、出たとたん熱帯低気圧が台風になりそうという予報もあつて、さっそく災害が心配になります。

さて、4月に行われまして統一地方選ではお陰様で4期目の当選を果たすことができました。感謝申し上げます。ぎりぎりまで定数しか立候補がなく、無投票だといわれていますが、選挙戦当日立候補の届け出が16時ごろにあつた、と思えたこ



り、選挙戦確定となりました。選対事務所も大慌てでしたが、自分の選挙と知事選と両方戦わなければならぬ状況は初めてで、気持ちの切り

り替えが大変でした。しかしその結果、私は前回より2,500票以上多くの票をいただき、6位当選を勝ち取ることもできました。大変だった知事選も3万票差で当選しました。

応援した「丸山候補」が勝利するという嬉しい結果となりました。私にとっては、皆さんから「いい成績でよかったね」と言われるのが何よりのご褒美で、4期目を頑張つて良かった、と思えたこ

とでした。その後の島根県議会の様子は、今回の「風だより」でご報告していますが、大きく様変わりした議会が、今後良い方向に変化していくよう頑張つていく責任がありますし、新知事も県民の皆さんの大きな期待がある分、しっかりと現場主義を徹底し、県民の思いを受け止めた県政運営を行つていただくよう期待もし、支えていかねばならないと感じています。

これからも皆様には、しっかりと見守つて頂き、叱咤激励していただきますようお願い申し上げます。

県議会議員はくいし恵子の風だより



発行者 島根県議会議員  
はくいし恵子  
2019年7月10日発行  
拡大版 VOL.26

(はくいし) 事務所

〒690-0882  
松江市大輪町414-12  
TEL・FAX  
0852-23-0880

HPアドレス

http://  
www.hakuishi.  
sakura.ne.jp/  
index.html

※是非、お立寄りください。



得票数 8,293 票 (当選・6位/12人中)

県民の幸せを求めて  
全力で頑張ります

# 島根が変わる時がきた

変える力は私たち  
1人ひとりの思いと行動です



得票数 150,338 票 (当選)

四十四年ぶりに  
県民党知事が誕生

### 県政史上初の女性委員長に

## 建設環境委員長に選出

5月15日(水)に選挙後の初めての臨時県議会が開催され議長や委員会の役員体制が決まりました。県議会の運営に関わる議長や各委員会の選出がされました。この中で建設環境委員会が開かれ「はくいし」県議は委員として出席しました。

選挙結果は「はくいし」委員に6票が入り、委員長にポストに就任しました。今まで以上に大きな責任を荷つての県議会活動となります。これまでに増して、みなさま方のご支援とご協力をお願いいたします。投票の内容は民主県民クラブの2票と自民党議員連盟の4票で選出されました。残りの3票は、島根県自民党の2票は白紙。共産党が1票でした。



# はくいし恵子の県議会報告

## '19.6月議会報告 (6/6~7/2)

### 一問一答質問



はじめに

新しい任期が始まりました。丸山新知事のスタートでもあり、記念すべき2019年度の初議会となりました。質問戦でも知事答弁を求めるものが相次ぎました。県民の大きな期待を表すものでしょう。さて私の6月議会での質問をご報告します。この度は「合計特殊出生率と産む年齢の女性の人口について」他3点について一問一答質問をしました。

質問・合計特殊出生率と産む年齢の女性の人口について

(1)人口減少対策として合計特殊出生率を2.07とし、達成を5年前倒しされたが、これで子どもの人口が増えると考えるか。

【知事】親の世代の人口が変わらなければ、出生数は941人増える。親世代の人口が減れば必ずしも増えることにはならない。

(2)総合戦略で合計特殊出生率のみが数値目標とされ

質問・障がい者雇用の状況と職員理解の促進について

(1)今年度の採用実績を伺う。

【総務部長】今年度全障がい者5人。身体障がい2名、知的障がい1名、精神障がい1名。

(2)障がい者本人、配属された職場で問題になっていることがあるか伺う。

【総務部長】上司の面談や今年度配置した障がい者統括支援員が職場を巡回する等の対応により、大きな問題はない。

(3)採用時に何を大切に考え、どう取り組んできたか。

【総務部長】職員や職場の理解、相談体制整備が大

切と考え研修と支援体制構築を行った。統括支援員は当事者の相談だけでなく、配置された職場からの相談にも応じている。

(4)県職員への研修内容を伺う。

【総務部長】新規採用職員研修はH26年度から、障

ているのはなぜか。【知事】全国、他県や過去と比較し取り組みの影響や成果を推測できることから重要。

## 人口減少対策の具体化を！

(3)15歳から49歳の女性人口の推移を伺う。

【健福部長】H28年11万6,027人H29年11万5,498人H30年11万3,930人。

(4)男女別転出入を見ると女性の転出者が多い(ワースト3位)。要因はなにか

【地域振興部長】県として要因を特定していない。民間研究機関の指摘では若い女性を選ぶ地域は「夢が実現できるか」「結婚しても仕事の継続ができるか」という環境が鍵というものがある。

(5)Uターン施策で、女性に着目したものがあるか。

【地域振興部長】首都圏で

(6)女性に魅力的な島根の特徴は何だと考えるか。

【知事】自然が豊かで落ち着きがある、歴史的な街並み、都市部から自然へのアクセスが容易、職場と住まいの距離が接近しているのが暮らしやすいことなどが魅力。

私は夢の実現や仕事と子育ての両立という面から考えると、男女とも性別役割分担意識が低く、女性が結婚しても働くことを肯定する割合が高いことや正規雇用率が高いこと、保育所の入所のしやすさ、持ち家率が高いこと、親との近居が可能、生活費が安い、安全な食糧が手に入りやすい等女性にとって魅力的な要素がもつとあると思う。

(7)そういった魅力を最大限

いて昨年度から実施している。管理監督者対象のメンタルヘルス研修では昨年職員のメンタルヘルスと発達障害をテーマに実施した。今年度は発達障がいについて実施する予定。

## 障がい者雇用の対応強化を！



(5)今後継続研修を実施するかまたその予定を伺う。

【総務部長】新規職員研修、全職員への理解促進研修は今年度実施済み。管理監督者メンタルヘルス研修は今後実施。内容を見直しながら引き続き実施していく。

(6)支援の実践に役立つ体験型研修が必要と思うが取り入れる考えはあるか伺う。

【総務部長】当面は知的・

生かして県内出身女性をターゲットにUターン施策を打つ考えはあるか。

【知事】全国的に優れている様々なデータや今後行うUターン者への意識調査の性別ごとの分析等を確認し、若い女性をターゲットにした情報発信、意識付けに力を入れ、Uターンの拡大につなげる。

(8)男女共同参画社会の実現とその結果として家事参加する男性を育てる必要性について考えを伺う。

【環境生活部長】男性の家事参画意識を高めるため今後家事参画の募集を行う。また今後鳥取県との共同キャンペーンを実施する。さらに経営者セミナーの開催、男性の育休取得に積極的な企業の紹介など普及啓発を工夫して行う。

精神障がいの理解を深めるための研修が喫緊の課題。今年度実践的な研修として最近増えている発達障がいをテーマに、発達障がい者支援センターの職員を講師に招いた。今後実践的な研修になるよう工夫する。

(7)以前から採用されている身体障がいの職員、中途障がいの職員の方や職場に対応するために今後統括支援員を増やす考えはないか。

【総務部長】現時点では相談対応、巡回を行っても1人で可能。今後障がい者採用を増やしていく予定であり、状況を踏まえて必要な支援体制を考える。

## 交通事故防止と歩行者保護を！

質問・自動車事故による歩行者保護について

(1)大津市の園児の死亡事故などのように今までの安全運転教育では整備・防ぎ入れない事故への対応を伺う。

【県警本部長】園外保育コースの危険個所の把握に努めている。把握した個所は道路管理者に防護柵などの整備・補修を働きかけ、また園に対し経路指導を行っている。

(2)交通量の多い交差点や通路、保育園近くなどの交差点に優先的に鉄製ポールなどの防護対策を設置することはできないか。

【土木部長】点検結果に基づき、道路の構造や歩行者の状況等を勘案し、優先度や緊急度も考慮して鉄製ポールの設置などを進める。

(3)設置に関し他県知事とも連携し、予算も含め国に対し設置の提案を行う考えはないか伺う。

【知事】先月の中国知事会、今月の日本創生のための将来世代応援知事同盟において政府に抜本的な対策を求める緊急声明を採択した。今後は必要な予算の確保等他県と連携して国に求めていく。



会派調査

# 被災時には松江気象台のホームページの活用を

6月議会中の会派調査は、松江市にある「松江気象台」に伺いました。梅雨入り間近でもあり、昨年の江の川流域の水害も記憶に新しいことから、調査に伺いました。

私は小学校以来で、さすがに「百葉箱」はもうなく、様々なデータの収集はデジタル化され、事務室のパソコンに送られてくるようになっていました。また、敷地内の建屋で水素が作られ、それを詰めたバルーンに計量機器を付けて、朝と夕方飛ばして観測をするそう

ですが、それはだれも初めて聞く話でした。

また、各種データはパソコン、スマホで松江気象台のホームページから閲覧でき、地域の中小河川の水位の危険度などが色分けされて示されるようで、これから大雨のときは近くの川の様子を見てみようと思いました。

様々なデータは県や市とも連携して、避難情報に役立てられているということでした。

# 議会が大きくさま変わり

6月議会から、新しい任期が始まりましたので、議長・副議長選挙や委員会の委員長副委員長選挙が行われましたが、私たち民主県民クラブの取り組みは、知事選を自民党議員連盟の14名とともに戦い、丸山知事が誕生したことから今までと大きく違いました。

今まで議長・副議長選挙は、「民主県民クラブ」独自で会派の構成議員の中から候補者を決め、投票してきたのですが（もちろん少数ですから当選はしません）、今回は「自民党議員連盟（16人）」の中の候補者の名前を書くことになりました。（民主

県民クラブの構成議員がもつと当選していたら、副議長が狙えたかもしれませぬ！結果は議長に中村芳信議員、副議長に中島謙二議員が選ばれました。

また、建設環境委員会の委員長ポストを民主県民クラブに、ということで、今までの指名推薦方式ではなく選挙ということになりましたが、私が



## 平和と生活を守る選挙です

# 参議院議員選挙

## 私も応援しています。



## 全国比例区は個人名です。

# 「岸まきこ」と書いてください

7月4日公示された参議院議員選挙は、選挙区選挙は今までにない対応が迫られています。島根の立民、国民、連合しまねなどは「自民党に入れないことで協力していく」方針を打出しています。個々の判断での対応となっています。

全国比例区は現職が支援しており、女性候補である「岸まきこ」さんを支援して取り組んでまいります。

比例区選挙の当落は個人名の投票が多い人から当選するという方式ですので、「岸まきこ」と個人名を書いて下さい。

近年投票率が大きく下がっていますので、ぜひ投票に行ってください。

# 投票こそが生活と平和を守ります

# 地球を守る子どもたちの話

「2078年、75歳になつた私に、子供たちは聞くでしょう。『行動する時間はまだあったのに、あの人はなぜ何もしなかったの?』と。あなた方は、自分の子供を何よりも愛していると言いつつ、その目の前で子供たちの未来を奪っているのです」

2018年12月に、ポーランド南部カトビツェで開かれた国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）。スウェーデンの15歳の少女、グレタ・トゥーンベリさんは、環境活動家としてこう演説した。鋭い言葉は各国代表らの胸に突き刺さった。

15年に採択された温暖化防止の国際枠組み「パリ協定」の根幹は、「今世紀中

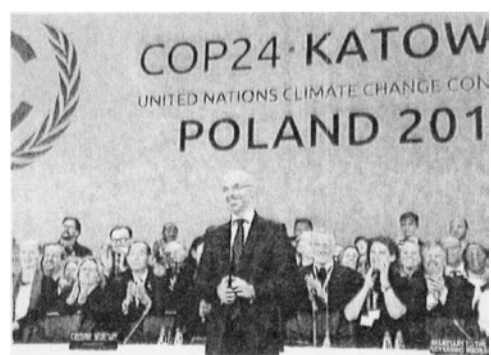
選任いただくという結果となりました。

ちなみに委員会9人の構成議員中「島根県自民党」の2名は白紙、共産党議員はご自分に投票、という結果でした。つま

り民主県民クラブの（私を含めた）2名と自民党議員連盟の4名が私に投票した、ということになります。

2つの特別委員会でも、民主県民クラブに副委員

長ポストが来ました。指名推薦で、地方創生・行政調査特別委員会副委員長に、角智子議員、離島・中山間調査特別委員会に、平谷昭議員がつくことになりました。



「私たちは世界の指導者に『氣遣ってほしい』と懇願しに来たわけではありません。望みが望まぬままに変わりは起きているということを知ってもらうために来たのです。真の力は人々のものです」

（編集委員・石井 徹）  
2019・1・30朝日新聞から

「2078年、75歳になつた私に、子供たちは聞くでしょう。『行動する時間はまだあったのに、あの人はなぜ何もしなかったの?』と。あなた方は、自分の子供を何よりも愛していると言いつつ、その目の前で子供たちの未来を奪っているのです」

2018年12月に、ポーランド南部カトビツェで開かれた国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）。スウェーデンの15歳の少女、グレタ・トゥーンベリさんは、環境活動家としてこう演説した。鋭い言葉は各国代表らの胸に突き刺さった。

15年に採択された温暖化防止の国際枠組み「パリ協定」の根幹は、「今世紀中

の温室効果ガスの実質排出ゼロ」と「5年ごとの削減目標の強化」にある。COP24ではパリ協定の主な運用ルールが決まり、20年以降の本格的な実施にメドがついた。だが、温室効果ガス排出の削減目標の引き上げについては、トゥーンベリさんたちの訴えは届かず、進展が見られなかった。

国際交渉が停滞する中、各国の企業や自治体は20年を待たずに化石燃料からの脱却に動いている。

トランプ大統領がパリ協定から離脱を表明している米国では、3500以上の企業や自治体が「私たちはまだパリ協定にいる」に署名。昨年9月には、米サンフランシスコで非国

家による初めての「グローバル気候行動サミット（GCAI）」が開かれた。歩みの遅い国際交渉をやゆして「国の役割は終わった」との声も聞かれる。だが、グテーレス国連事務総長はCOP24で、「国家と非国家の連携が必要」と訴えた。カギとなるのは「削減目標の引き上げ」「経済の変革」「市民と若者の動員」だ。

これまでにない若者の動きが起きている。トゥーンベリさんは昨夏、スウェーデン政府に温暖化対策の強化を求めて、国会前で2週間の座り込みをした。これに触発された子供たちによる抗議行動は、スイスやドイツ、オーストラリアなどに広がった。トゥーンベリさんはCOP24で呼びかけた。

「私たちは世界の指導者に『氣遣ってほしい』と懇願しに来たわけではありません。望みが望まぬままに変わりは起きているということを知ってもらうために来たのです。真の力は人々のものです」

# 知事が労組の大会に出席

## 行動派を発揮



定期大会で挨拶する丸山知事

6月議会中に、県職員労働組合県庁支部の定期大会がありました。質問戦の日でしたが、早く終わったので開会に間に合う時間に会場入りすることができました。そこでびっくりしたのが、丸山知事が来賓で出席されたことです。支部長も議会でありメツ

6月議会中に、県職員労働組合県庁支部の定期大会がありました。質問戦の日でしたが、早く終わったので開会に間に合う時間に会場入りすることができました。そこでびっくりしたのが、丸山知事が来賓で出席されたことです。支部長も議会でありメツ

セージでもいいですと言ったそうですが、知事自ら出席するといわれたそうです。出席した代議員の皆さんもさぞやびっくりされたのではないのでしょうか。支部長あいさつに続く来賓挨拶の順番がまた、県職連合委員長がトップバッターはいいとして、知事を差し置いて私が2番



目というの、何だかいいのかなーと思いつつながら「知事の出席は組合始まって以来」と紹介しました。実は後日開催された県職連合の送別会で、大先輩から「恒松知

事1期目も同様だった」と聞きましたから、始まって以来ではなかったのです。さらに先輩からは、「恒松知事は2年目からは出席しなかった。そんなことのないように」との発言もあり、これからの良い関係を続けていく正念場だな、と思ったところで

今回初めて民主県民クラブから、私が建設環境委員長を受けることになりました。初めてはそれだけでなく、女性が委員長になるのも初めて。さらに文教厚生委員長に、自民党議員連盟の田中明美議員がつかまりました。女性2人が委員長に就くのも初めて、と初めて尽くしとなりました。もっとも、そもそも島根県議会の歴史の中で女性議員が少なく、戦後まもなく自

### トピックス 女性県議の歴史

きいし、また支持してきた私たちにも、その責任があります。丸山県政はスタートしたばかりで、人口減少対策をはじめとして、島根の独自性が打出せるかなど大きな課題がたくさんあります。県民が声をあげ、その声が届く、開かれた県政

## 知事選をふり返って



4月の知事選挙はなるべくしてなった結果です。自民党県議団の分裂は中央べつたりの溝口県政12年間の中での反発でした。国会議員や中央ばかり見ていて地方自治の精神を失い、地域の主体性、独自性を発揮することもなく、時を過ぎた結

## 課題と役割

### 議員の活用を！

果、島根は活力をなくし、限界集落は増え続け、その未来に不安と滅びを感じていたからだと思えます。こうした中で昨年の早くから知事交代論が浮上り、丸山さんの出馬がとりざたされてきました。「民主県民クラブ」も昨年からは水面下で動いてきましたし、労働組合も丸山支持を打ち出し、44年ぶりの県民党的な知事が誕生しました。それだけに丸山県政に

### 動き出した知事選挙 今、政治を変える時

- ▶ しがらみのない政治で、明日の島根を切り開く  
島根県は、長い長い間、特定の個人が政治を握ってきましたが、私たちの生活や地域は元気が出たでしょうか。人口は毎年5000人ずつ減り続け、島根県は活力を失っています。過去のしがらみから解放され、夢と希望の持てる政治を作るときがやってきました。
- ▶ 国の主導で、島根は変わらない。あなたは、このままでいいですか？  
国の言いなり、国会議員の言いなりが続いていますが、これで島根が良くなったでしょうか。県全体に閉塞感が強くなっていく状況の中で、地方には地方の思いやり方があっていいはず。声を上げて変革を求めてみませんか。
- ▶ 新しい「しまね」の幕を開けるのはあなた  
新しい島根を作るには、政治の流れを変える必要があります。知事は、「地元」とか「よそ者」とかの議論ではありません。本場に島根にとって、県民にとって、誰か何をやるのか、一番大切な事。そして、本当の姿を見極めるのは、ひとりひとりの力です。幕を開けるのはあなたです。
- ▶ 一緒に考えてください  
島根を変えたい、島根の主体性を、島根県民の幸せを求めて県議会で頑張ってきましたが、議員では出来ないことが多々ありました。この4月の知事選挙で島根を変えるために、一緒に考えて行動していただきたいと思えます。

島根県議会議員 はくいし恵子  
はくいし恵子と川上真人 川上 真人

## 恵子の想い



しかし、どの会派も単独で過半数を取れないという状況下において、表決時のキャスティングボードを握るといって状況になつていきます。今までもとは違い、県政運営に大きな責任を負うことになり、責任の重さをひしひしと感じています。今までも第一会派と調整をしながら、条例制定や請願の採択に当たってきたのですが、さらにそういった調整と、どこまで何を求めていくか、と

今月初となる6月議会。統一地方選挙、知事選挙の結果、県議会の在りようが劇的に変わりました。自民党系の会派が2つに割れ、「自民党議員連盟（16名）」と「島根県自由民主党（10名）」になりました。「民主県民クラブ」は、安来、江津、出雲、大田で勝ち上がり、5名と大きく人数を減らしてしまいました。 (2019.7.2) はくいし恵子 (6月議会報告ダイジェストから)

## 編集後記

統一自治体選挙の結果は4期目の当選と知事選挙も勝利することが出来、最高の結果となりました。まだまだ知事について未知の状況ですが、県執行部と県議会が活発な議論をすることで活力がでると思っています。 今回の議会で「はくいし」県議は委員会の委員長となり、その責務は一層大きなものとなりました。気を抜かず全力で頑張ってもらいたいと思います。引き続き「風だより」の編集をまいりますのでご協力をお願いし、4期目のスタートの「たより」をお届けいたします。

後援会長 川上真人